

企業も地域のために何かできることはないか、と始めた幼稚園への読み聞かせも今年で3年目。目を輝かせて話に夢中になる園児たちの笑顔や無邪気な顔を見ると、こちらも癒されます。社会貢献の一環として今後も続けていきたいです。

東芝テック(株)
総務部 三澤さん

子どもが、本と身近に触れ合うことのできる環境作りのために、子どもの発達や保育のねらいに応じ、一日の中で絵本などに親しむ機会を設けています。

各園とも、先生をはじめ、保護者やボランティアの人たちによる読み聞かせを行っています。幼稚園では、給食後に自主的に絵本を読む時間を設けているところもあります。



東芝テック(株) 原事業所長による読み聞かせ(田京幼稚園)



図書ボランティアを中心に
装飾された葦山南小学校の図書室

学校の今

朝読書や読書ボランティアによる読み聞かせをはじめ、『図書だより』の発行などにより、読書の推進を図っています。

子どもたちに、『図書室』楽しいところ』『ワクワクするところ』という認識を持つてもらうことで、多くの本と積極的に触れ合えるよう各学校でさまざまな工夫を凝らしています。

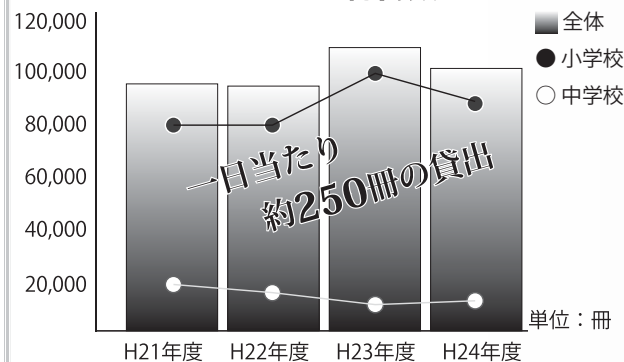


月別にテーマを決め
展示されている保健室

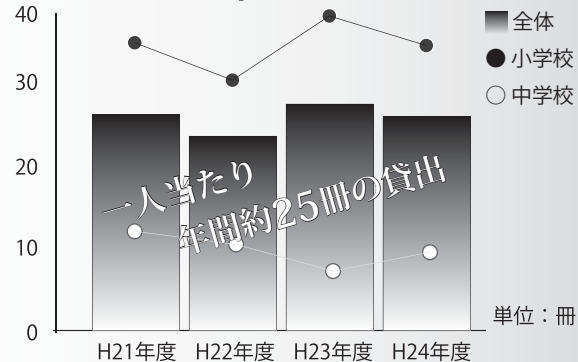


授業に必要な新聞の
切り抜きなどを配架

■学校図書年間貸出総冊数



■学校図書一人当たりの年間貸出冊数



園・学校の今

幼稚園・保育園の今

学校の今

問 幼児教育課
055(948)1447

問 学校教育課
055(948)1453



図書室で調べ学習を
行う葦山中学校

たくさん読んで 大きくなあれ



2013・第55回こどもの読書週間特集

4/23 ~ 5/12



子どもたちにとって“読書”は、感性を磨き、表現力を高め、想像力やコミュニケーション能力を豊かにします。

本との出会いは、自ら学び自ら考え、主体的に判断する力と人生の知恵を学び、自分自身の力で未来を拓く力や他人を思いやる心を身につけることができます。

皆さんで増やしていきませんか、子どもたちが本と触れ合う機会。



中央図書館

葦山図書館

長岡図書館



中央図書館司書
高橋伸枝さん

『たまごくらぶ』
『Baby-mo』
『こどものとも』
など、お母さん
用の雑誌も豊富



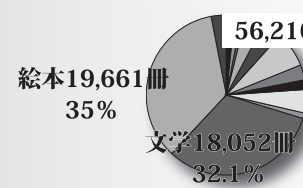
子どもに人気の
DVDやCDも貸出可

図書館の今

図書館は、子どもにとってたくさんの本と出会うことができる場所です。市内にある3つの図書館では、子どもたちが気軽に足を運べるように、展示の工夫や『工作体験』、『おはなし会』などのイベントを年間を通じて行っています。

問 中央図書館
0558(76)5566

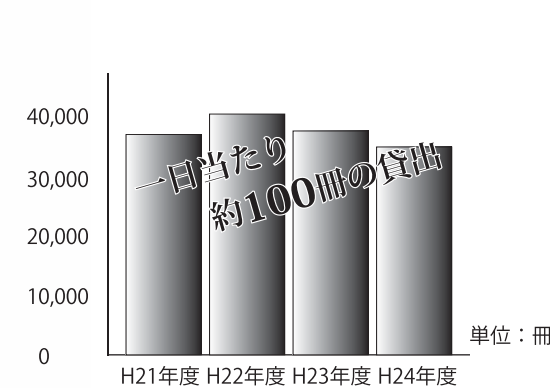
■児童書の分類別蔵書構成



種別	冊数	構成比
語学	700	1.2%
文学	18,052	32.1%
絵本	19,661	35.0%
紙芝居	1,655	2.9%

種別	冊数	構成比
参考図書	802	1.4%
郷土資料	247	0.4%
総記	792	1.4%
哲学	384	0.7%
歴史	2,249	4.0%
社会科学	2,139	3.8%
自然科学	4,078	7.3%
技術工学	1,650	2.9%
産業	1,098	2.0%
芸術	2,709	4.8%

■図書館の年間貸出冊数(0歳～18歳未満)



市の必読書

園・学校用

昨年度、市内の学校図書館司書が中心となり保育園・幼稚園、小学校、中学校の子どもたちにお薦めの本100冊を選定しました。

子どもたちの読書傾向を把握している身近な司書さんたちが、卒園・卒業までにこれだけは…との願いを込めて、協議を重ね選定した本。古典から現代読み物まで、地元の作家や世界遺産、防災など特色あるラインナップです。

子どもたちの身近な景色の中にある歴史や、想像の世界の扉を開けることにより、人としての生き方、郷土に誇りを持つ成人への成長につながるように、多彩な本を選びました。



子ども時代の読書は

豊かな人生の第一歩

本には心を育てる種がいろいろ。想像の種、感動の種、人生の種、発見の種、知識の種、幸せの種、…わくわくどきどき。…感動が心を育てます。

子ども時代に『絵本を読んだことがある、好きな本がある、忘れられない本がある』と答えた成人ほど『未来志向』『社会性』『自己肯定感』『意欲・関心』『文化的教養』『市民性』が高い、と国立青少年教育振興機構が実施した調査で報告されています。

現在、保幼小中一貫教育を進める本市では、市内小中学校全校に学校図書館司書を配置し、子どもたちと本をつなぐさまざまな試みを進めています。ボランティアによる地域参加型の読み聞かせをはじめ、情報センターとして、知識をつなげ、学びを広げる学校図書館を、より充実させていきたいと考えます。皆さんの協力により、地域と学校との双方での取り組みが少しずつ実を結んでいます。

家庭では、大人の生活の中で読書と子どもをつなげることが大切です。子どもにとってお風呂やお布団の中で、家族から聞いた昔話や怖い話、一緒に眺めたお気に入りの絵本、読み聞かせ、図書館に訪れてもらったことなど、就学前から小学校低学年までの読書環境は、温かな記憶として残り、生涯を通じての読書生活の豊かな土壌となります。子どもたちの読書活動が多い成人ほど、自分の子どもと読書を通じた関わりが多いことが実証されています。

子ども時代の読書活動は、豊かな人生への第一歩であるといえます。市では、家庭・地域・学校との連携をより深め、『本に親しみ、本を活かす』子どもの育成を推進しています。



学校教育課
相馬美樹子さん

幼稚園・保育園用

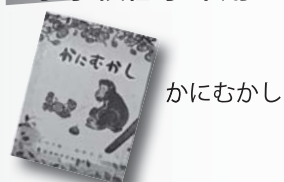


いちご

はらぺこあおむし
ももたろう
ぐりとぐら
みんなうんち
どろんどろん

※全10冊のうち一部

小学校低学年用

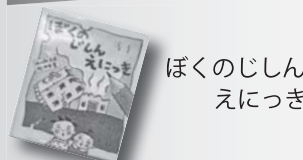


かにむかし

歯がぬけた
14ひきのあさごはん
スーホの白い馬
ファーブル昆虫記
エルマーのぼうけん
花さき山

※全30冊のうち一部

小学校高学年用

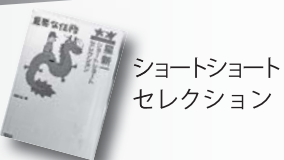


ぼくのじんえにつき

盲導犬クイールの一生
最後のひと葉
かぎりなくやさしい花々
ハリー・ポッターと賢者の石
江川太郎左衛門
ぼくらの七日間戦争

※全30冊のうち一部

中学生用



ショートショート
セレクション

源頼朝
羅生門・杜子春
日本の世界遺産
バッテリー
しろばんば
穴

※全30冊のうち一部

本との出会い

身近な所に、本との出会いが

市では、子どもの年齢やさまざまな生活に合った読書環境を提供しています。日常生活の中に本と触れ合う機会を増やす。その環境を選ぶのは、子どものための一歩を踏み出すのは、あなた自身です。

春のおはなし会

とき 5月25日(土)
11:00~11:45
ところ 中央図書館
2階視聴覚室
対象 幼児~小学生
中央図書館
0558-76-5566

内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居の実演、手遊びなど協力 おはなし研究会『ひこうせん』※申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

事業名	概要	対象	場所	問合せ
おはなし会	図書館おはなし会	幼児から小学校低学年まで	各図書館	中央図書館 ☎0558-76-5566
	出張おはなし会・ブックトークなど	園児・児童	各園・小学校	各園・小学校
	のびのび広場 読み聞かせ	就園前の子ども	葦山福祉・保健センター	健康づくり課 ☎055-949-6820
	子育て支援センター 読み聞かせ	就学前の子ども	たんぼぼひろば すみれひろば	たんぼぼひろば ☎0558-76-6006 すみれひろば ☎055-949-0823
3カ月児相談・ブックスタート	子育て支援のため、読み聞かせの大切さを伝え、絵本の提供と紹介を行います。	赤ちゃんとその保護者	葦山福祉・保健センター	中央図書館 ☎0558-76-5566
図書館イベント (春・冬のお楽しみ会、夏休み工作教室など)	本への親しみ、読書への意欲を向上させるため、図書館の利用促進を図ります。	幼児から小学校低学年まで	各図書館	中央図書館 ☎0558-76-5566
読み聞かせ講座	読み聞かせの基礎から応用までを学ぶ講習会。子どもの読書環境整備の一環として、読み聞かせに携わる人を支援します。	読み聞かせボランティア、読み聞かせをする人	中央図書館	中央図書館 ☎0558-76-5566

家庭こそ最高の読書環境の場

子どもが常にリラックスできる家庭こそ、本と接する最高の場。

親子での読み聞かせは、本を通じて一つの世界を共有し、そのことについて語り合うことは親子の心の触れ合いを生みます。

親子での読書は、子どもの心を豊かにするばかりではなく、

親子の絆を深め、親に対する信頼感を育みます。子ども

もたちのためにも、大人の私たちが本と接する機会を

積極的に提供してあげましょう。

「たくさん読んで 大きくなあれ」

